

「スペイン財政赤字 48 %減 - 1 ~ 7 月歳出削減進む - 」日本経済新聞 2010 年 9 月 1 日朝刊を読む

スペイン財政赤字48%減 - 1~7月歳出削減進む -

- 1 . スペイン政府は 31 日、同国の 1 ~ 7 月の財政赤字は 257 億 7400 万ユーロ(約 2 兆 7500 億円)と前年同期比で 48.2 %減ったと発表した。肥大化した財政赤字で信用不安にさらされた同国は緊縮財政政策を導入しており、赤字は 4 月以降、減少傾向が続いている。
- 2 . 公共工事の凍結など緊急財政再建策の実行により、1 ~ 7 月の歳出は前年同期比で 2.5 %減った。一方で所得税収などが伸び、歳入は同 10.4 %増えた。スペインは 7 月 1 日、付加価値税(日本の消費税に相当)の税率を 16 %から 18 %に引き上げた。
- 3 . スペイン政府の財政赤字は 2009 年は国内総生産(GDP)の 11.2 %に達し、ユーロ不安の一因となった。政府はこれを 11 年に 6 %、13 年には欧州連合(EU)が求める 3 %まで圧縮する目標を掲げている。今年 1 ~ 7 月の財政赤字幅は、GDP の約 2.4 %に相当する。

#### [コメント]

ギリシャの次はスペイン、イタリア、ポルトガルだと世界中から注目を集めていたスペインが、ようやく本気になり始めた。総選挙の数日前にマドリッドのアトーチャ駅爆破事件の犯人をそうでないと言いながらバスク地方の反政府勢力 ETA にした当選確実であったアスナール前首相に国民は失望。当選したら主婦手当を出すと言いほとんど相手にされなかったサパテロ氏をアスナール氏の代わりに首相に選んだスペイン国民。その国民の期待に応えようと、人気取りのためにマニフェストの第一に掲げた主婦手当のことなど全く気にもせず現路線を選んだサパテロ首相。国民の誰一人としてサパテロ新首相の公約違反を責めていないと言う。なぜ、アスナール氏を選ばず、サパテロ氏を選んだか。ETA はそれまでバスなどの爆破事件を頻繁に引き起こす非常に危険な団体ではあるけれども、やってもいないアトーチャ駅の爆破をやっていないことを知りながら ETA のせいにしたアスナール氏の道義的責任を、スペイン国民は問うたためだ。スペイン国民は極めて政治的に成熟した国民であると、その当時私は尊敬すらした。リップサービスの主婦手当は不問に付し、現実的な政策を支持した。今回の経費削減も許容しているスペイン国民は尊敬に値する。

日本国民も、スペイン国民から政治的な成熟性をもっと学ぶべきかと痛感する。余りにも国民を甘く見ている政治家、余りにも批判的思考能力が欠如して政治的に未成熟な国民。このままでは日本は本当に沈没する。それでいいのか。